

確定版

22.11.09



# 信州ITバレー構想実現の加速化に向けた取組

プロジェクト共創ネットワーク 発足  
軽井沢NAGANOサロン2022 開催



2019年  
9月策定

～Society5.0時代における地方創生～  
長野県産業イノベーション推進協議会

# 信州ITバレー構想が 目指すもの

**1** 快適な住環境と暮らしやすさ、首都圏・中京圏・北越地域との結節点に位置する長野県の地理的メリットを活かして、Society5.0時代のデジタル社会を担うIT人材・IT企業を集積させること

**2** 産学官が連携しITビジネスの創出を促すエコシステムを構築し、長野県の産業の中核を担うものづくり産業等すべての産業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進や高度化を加速すること

推進  
目標

IT産業の売上高を首都圏レベルに

**1,507万円** (2017年) → **2,000万円** (2025年)

※従業員あたりの売上高

AI・IoT等導入率を5割に

**9.4%** (2018年度) → **50.0%** (2021年度)

※長野県景気動向調査対象企業

**26.5%** (2021年度)

参考  
指標

IT事業所数の増加

**474カ所** (2017年) → **700カ所** (2025年)

全国15位 → **全国14位** **549カ所** (2021年度)

## 信州 I T バレー構想実現の加速化に向け、新たに2つの事業を始動

- **共創ネットワーク** 産学官の全県組織NITの強みを活かし、県内外企業のPJを創出
- **NAGANOサロン** リゾートテレワークを推進し、IT・NAGANOを世界へ発信



### IT人材・企業の集積 キックオフイベント

- 1 開催日時** 令和4年11月9日(水)  
15時 信州 I T バレー構想プロジェクト共創ネットワーク  
16時 軽井沢NAGANOサロン
- 2 会場** 軽井沢町発地 ルグラン軽井沢ホテルアンドリゾート
- 3 参集者**  
(58名)
  - ・ 県内外IT企業関係者 NIT、共創ネットワーク 発起人等
  - ・ 信州ITバレー構想実現、ビジネス創出につながる経営者、プレイヤー

# 構想実現の加速化 PJ共創ネットワーク

## アンバサダー



## オープンイノベーション

地域DX推進部会      グローバル部会

## PJ共創ネットワーク

ファイナンス部会      ライフスタイルデザイン部会

IT企業誘致 (デジ田都市) 部会

ITソリューションデータベース (構築予定)

※ 上記に加え「GX部会」検討中

ITバレー  
構想  
加速化

## ① ITビジネス創出・誘発

課題：県内IT企業の高度化（開発型への転換）  
目標：IT事業所数700カ所



## ② 産業DX推進



## ③ 人材育成・確保

課題：Top人材、DX化を推進する人材の不足  
目標：デジタルコア人材の確保



IT人材・IT産業の集積に向けた **エコシステムを形成**

- ① IT企業の開発力向上やビジネス創出支援の強化
- ② 全ての産業のDX推進によるIT企業活躍の場づくり
- ③ 県内でグローバルに活躍するIT人材の育成・誘致・定着

**新たな価値・創出技術革新を促進**

## 活動方針

外需取込み DX支援

県内IT企業 受託型から開発・伴走型の高収益へ

+ PJ共創

県外IT企業 コラボレーション、IT人材の集積

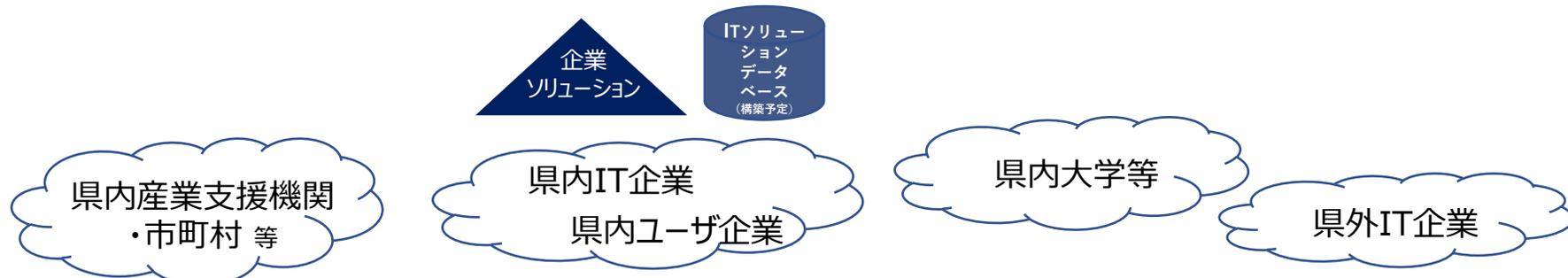
DAO型の組織

信州ITバレー構想 PJ共創ネットワーク



※部会名は現時点の予定、今後、活動が進むなかで部会の変更や追加も想定

相互に情報を共有しあい、結果、プロジェクトが順次立ち上がっていくネットワークを構築

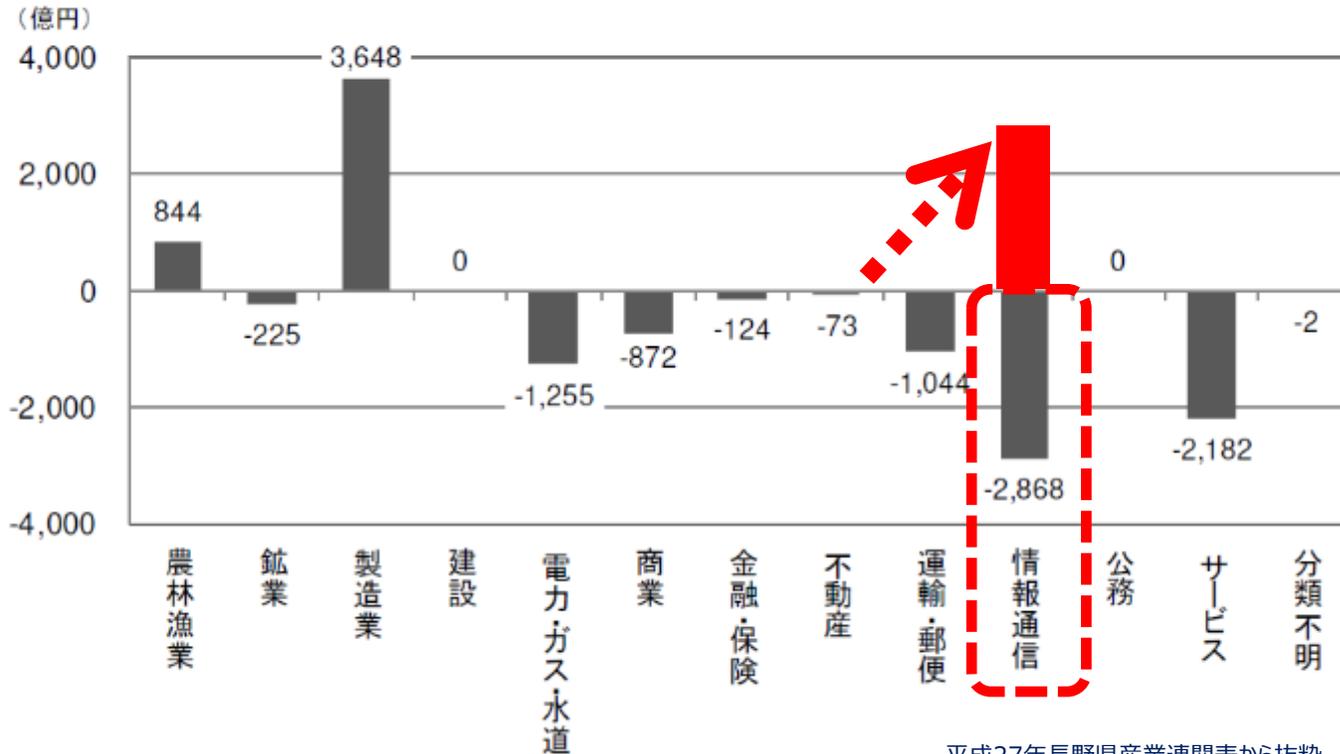


※DAO (Decentralized Autonomous Organization) : 「分散型自律組織」中央集権的な権力を持つリーダーがおらず、参加者全員が平等な立場で組織が運営される。Web3時代の組織運営形態と言われる。

■ **情報通信業を受託型から開発型（IT産業）へ  
製造業と同様高付加価値型へ！！**

■ **高付加価値型とあわせ  
事業所数を全国トップクラスへ**

図7 産業別県際収支



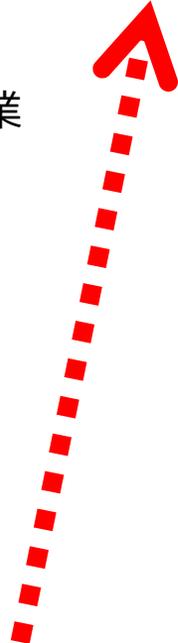
平成27年長野県産業連関表から抜粋

受託開発ソフトウェア業  
人口1千人当たり事業所数

- 1位 東京都
- 2位 大阪府
- 3位 福岡県
- 4位 神奈川県
- 5位 愛知県
- 6位 石川県
- 7位 沖縄県
- 8位 宮城県
- 9位 北海道
- 10位 広島県
- 11位 香川県

**12位 長野県**

R3経済センサ（速報）及び日本の統計2022 より





※部会名は現時点の予定、今後、活動が進むなかで部会の変更や追加も想定

## 新規事業にチャレンジする事業者とその支援者が集まる魅力ある地域をつくる

発起人：NICOLLAP 協力：信州大学、長野県立大、長野イノベーションベースNIB、CREEKS

### アクセラレーションPJ

- ・地域企業×スタートアップ
- ・地域コンテンツ×スタートアップ
  - スポーツ、環境政策等



新規事業、新産業の創出

### 若手DX人材発掘PJ

- ・若手人材のマインドセット
  - チャレンジ精神、自分らしく生きる
- ・クリエイティブ人材の発掘・育成
  - 自分でコトを興せる人

### 上場起業家育成PJ (NIB)

- ・上場を目指せる事業・起業家支援
- ・全国の起業家とのネットワーキング
  - 地方経済未来会議LEC長野

(2023年10月)



※部会名は現時点の予定、今後、活動が進むなかで部会の変更や追加も想定

## 県内企業の高収益化、県外企業と連携し革新的ビジネスモデルをつくる

発起人：システックス、TOSYS 協力：アルティメイトプロジェクト、デザインルーム エム、マリモ電子工業、信州大学、マイクロソフト、セールスフォース

### 県外企業連携

#### 産業DXハンズオンPJ

- 産業DXのハンズオンサービスを拡大  
県境を越えた事業者連携等も検討

### 県内企業開発支援

#### エッジAI等活用DXシステム普及PJ

- 検品作業コスト等を大幅低減と在庫管理効率化両立システム
- ローコストかつ忌避効果の高い鳥害防止システム
- ブロックチェーンを活用した遺伝子NFTビジネス創出
- 地域DX実装、IT人材育成集積アイデアコンテスト 等

### 人材育成

#### グローバルIT人材育成PJ

- 地域連携型（教育機関、経済団体、行政等）



※部会名は現時点の予定、今後、活動が進むなかで部会の変更や追加も想定

## 海外先進地に学び、長野にIT産業イノベーションエコシステムをつくる

発起人：信州大学 協力：長野県立大、ケイケンシステム、シソーラス、BJIT、FIT

### 海外連携イノベーション促進PJ

- ・ B-JETプログラム、ダッカ大学訪問及び連携
- ・ フラウンホーファーFIT研究所との連携、調査研究



※部会名は現時点の予定、今後、活動が進むなかで部会の変更や追加も想定

## 企業・人材を呼び込み、若者が働く場所のある地域をつくる

発起人：長野県 協力：長野市、松本市、飯田市

### 善光寺・長野周辺 IT企業集積促進PJ

- ・ IT関連企業、ベンチャーとの情報交換（ZIT、NIBとの連携）
- ・ 高度専門職のテレワーク拠点化事業

### リニアバレーまちづくりPJ

- ・ 飯田の魅力を向上するインナーブランディング

### 松本城下周辺 IT企業集積促進PJ

- ・ テレワーク拠点活用、住みやすい街づくり

### 信州リゾテレ普及PJ

- ・ リゾテレ先進地域「軽井沢NAGANOサロン」全県拡大



※部会名は現時点の予定、今後、活動が進むなかで部会の変更や追加も想定

## 官民一体となり“日本一創業しやすい県づくり”を実現する

発起人：八十二銀行 協力：長野銀行、長野県信用組合

### 地域連携・企業誘致戦略チームPJ

- ・ 県外事務所、海外駐在員事務所と県内金融機関が連携しグローバルIT企業等を誘致



※部会名は現時点の予定、今後、活動が進むなかで部会の変更や追加も想定

## イノベーションにつながる新たな生き方や暮らし方、働き方を広める

発起人：信州大学社会基盤研究所

協力：日本ワーケーション協会、信州リゾートテレワーク推進チーム、  
(日本テレワーク学会)

### 知的ライフスタイル創出PJ

- ・ 軽井沢ラボ（拠点） 知的インフラ集積、戦略移住、新しい研究（メタバース上ライフスタイル）
  - 人的交流から生まれるイノベーション
  - 豊かなライフスタイル・ウェルビーイングの実現
- ・ 新幹線による長野ゲートウェイ、全県へIT企業を呼び込み
- ・ リゾテレ先進地域「軽井沢NAGANOサロン」開催
- ・ 越境ワーケーション（県内外）

# 目指す姿 PJ共創ネットワーク



R4年11月9日

## 立ち上げ

達成したいビジョンを  
意思表示



11月～

## メンバー募集

共創してくれる企業等を  
広く募る

12月～2月

## ブラッシュアップ期

アイデアソン等（共創）  
新ビジネス検討・創出

3月～R5年度以降

## 成長・実装期

IT企業誘致部会（市町村）  
ファイナンス（金融界）  
を巻き込み協働



**ICT助成・コンソ補助金も  
駆使し社会実装を目指す**

## 共創エコシステム 構築

ビジネスアイデアの創出 実装（例）

- ・メタバース×スポーツチーム×県内IT（市場創出）、県内大学等×ゲーム制作会社×県内IT（IT人材育成）
- ・県内IT×世界的IT企業×県内ユーザー（DX）、市町村×大手コンサル×県内IT（スマートシティ）
- ・ Bangladesh × 県内IT（IT人材誘致） ・ 企業家×若者×県内IT（フラウンホーファー・シリコンバレー）

オープンイノベーション部会

地域DX推進部会

グローバル部会

ライフスタイルデザイン部会

IT企業誘致部会  
(デジ田都市)

フィールド提供 下支え

ファイナンス部会

実装期資金供給

# 今後の進め方 PJ共創ネットワーク

月 日	内 容	備 考
11月9日 (24名)	ネットワーク発起人（部会長）会議 あいさつ 山浦会長 趣旨説明 小林プロジェクトマネージャー <b>【オープンイノベーション部会】</b> シソーラス(株) 代表取締役 荒井雄彦 <b>【地域DX推進部会】</b> (株)システックス専務取締役 前川仁史 (株)TOSYS 常務取締役 神津富治男 <b>【グローバル部会】</b> 信州大学工学部教授 田中清 <b>【ライフスタイルデザイン部会】</b> 信州大学社会基盤研究所特任教授 鈴木幹一 <b>【ファイナンス部会】</b> 八十二銀行営業渉外部 <b>【IT企業誘致（デジ田園都市）部会】</b> 長野県産業労働部	オープンイノベーション部会、 地域DX推進部会、グローバル 部会及びライフスタイルデ ザイン部会は目的・取組につ いてプレゼンテーション
2月末まで	部会長声かけにより部会の開催 ・アイデアソン、ハッカソンによるプロジェクト検討	・NIT事務局、県は連携 ・経費の一部を支援（コンソ）
3月中旬	各部会の活動状況取りまとめ ・NIT事務局に提出 → 会員へ共有・プレス等発信 ・共創による事業展開へ反映	・コンソーシアム活用型ITビ ジネス創出支援補助金案件 掘り起こし
次年度以降	信州ITバレー推進協議会 ネットワーク部会長会議 開催	・NAGANOサロンと 同時開催

**他県例** ・県内 I T 企業は受託型（下請け）中心で、“ベンダー” や “SIer” はいるが、コンサルティングできる企業は少ない状況だった



・既存県内企業が県外 I T 企業と連携したり、ベンチャー企業を育成支援するなど、先進的な取組みにより、I T 産業全体の売り上げが上昇している

・ I T 企業誘致が成功し増加傾向。これらは開発型で県外の仕事を県内で行っている（外需獲得）  
また、ベンチャー企業では、U・Iターン者も獲得し育成している  
・既存企業も事業形態を見直し、付加価値が得られる開発・コンサル型への転換が図られている

**方向性** ・長野県においても開発型を目指し、外需の取り込みをすすめたい  
（売り上げの増加、高付加価値化→県民所得の向上と税収増）



**解決策** NITの枠組みを活用し、民間企業が相互に情報を共有しあい、結果、プロジェクトが順次立ち上がっていくネットワークを構築



# 軽井沢NAGANOサロン2022

## ① 軽井沢のサロン文化

- 軽井沢の最大の特徴は、別荘を持つ人同士の交流が盛んなこと。代々のつながりや、趣味、職業、卒業校など、さまざまな接点から育まれるコミュニティは、日本のサロン文化の象徴 ※軽井沢リゾートテレワーク協会HPから引用



## ② 軽井沢周辺に拠点をおく経営者、起業家、IT人材の存在

- テレワークが当たり前の都心の企業社員、元社員で現在は独立している若者、30代の子育て世代が多い

## ③ 信州リゾートテレワーク

- 信州リゾートテレワーク発祥の地 軽井沢
- リゾート長野の環境に身を置きながら仕事をするライフスタイル、オフィスを提案



**軽井沢は初回開催地として適地、取組を全県へ拡大**

## テーマ：信州ITバレー構想実現に向けたリゾートテレワークの方向性

趣旨説明 共立プランニング 岡田副部長

安藤理事長 現状と課題

芳野まい准教授 軽井沢サロン文化

ウイスキー文化研究所土屋所長  
軽井沢蒸留酒製造 島岡社長  
IT×地域資源×ウイスキー

- インプット
- ① IT人材の更なる集積
  - ② 他地域への波及
  - ③ IT・NAGANO世界へ発信

意見交換

阿部知事 総括

- **県産業振興【特に信州ITバレー構想】に関する意見交換・交流の場**
- **初回である今回は、軽井沢在住の、主に経営者、IT系企業・人材との交流を図る。**

日時	11月9日（水） 16時
会場	軽井沢町発地 ルグラン軽井沢ホテルアンドリゾート
目的	信州ITバレー構想実現、ビジネス創出にもつながるよう、軽井沢周辺に在住する知識人・IT系経営者をはじめ、県外企業・プレイヤーの皆様と県との意見交換・交流を行う
規模	58名（ITバレー共創ネットワーク参加者24名、他34名含む）

## 11月9日（水） 2つのイベントを開催

	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
行事	<b>①</b> ITバレーPJ共創 ネットワーク キックオフ（NIT）	<b>②</b>	軽井沢NAGANOサロン2022		
			サロン前半 スピーチ、基調講演①、意見交換・交流	サロン後半 基調講演②、意見交換・交流	